

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書

科学的根拠に基づいたがん免疫療法の評価とPublicity

研究協力者
田中 浩明 大阪市立大学大学院医学研究科消化器外科・講師

研究要旨

2020年1月23日（土曜日）より2月1日までの10日間、日本バイオセラピー学会 厚生労働省科学研究費研究班（河野班）の主催により、大阪中心の市民の方を対象に「がんに対する免疫療法の最新情報」についてweb配信を行いました。のべ89名の市民の方が視聴されました。

A. 研究目的

厚労科研班会議「科学的根拠に基づいたがん免疫療法の評価とPublicity」事業のひとつとして市民公開講座を行う。

B. 研究方法

日本バイオセラピー学会と連動、協調し、本年度、大阪市で市民公開講座を企画した。

C. 研究結果

4名の講師による講演を配信した。内容は以下の通り。

1. 乳がんに対する免疫療法

演者 柏木伸一郎先生（大阪市立大学大学院 乳腺内分泌外科学 講師）

乳がんについての情報。乳がんの治療がサブタイプ別に分かれていること、トリプルネガティブ乳がん免疫療法が効くものがあること、抗PD-L1抗体の臨床試験の結果などについて紹介された。

2. 血液がんに対する免疫療法

演者 中嶋康博先生（大阪市立大学大学院 血液腫瘍制御学 講師）

免疫に関する概要の説明と、造血幹細胞移植について、GVHDについて、新薬であるイノツヅマブ、ブリナツモマブ、またCAR-T療法やサイトカイン放出症候群についても説明され、最終的には患者さんによる意思決定の意義についても紹介された。

3. 肺がんに対する免疫療法

演者 金田博康先生（大阪市立大学大学院 臨床腫瘍学 講師）

肺がんが増えていること、ステージ4の肺がんには、キイトルーダ、テセントリク、ヤーボイ、オプジーボの免疫チェックポイント阻害剤の適応になること、補助療法ではデュラルマブが使えること、また免疫療法の副作用についても紹介された。

4. 消化器がんに対する免疫療法

演者 田中浩明先生 (大阪市立大学大学院 消化器外科学 講師)

消化器癌の特徴、免疫治療についての概略、胃癌、食道癌などそれぞれの消化器癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の適応などについて紹介された。

D. 考察

それぞれの癌において、免疫チェックポイント阻害剤が幅広く用いられていることが理解できる内容であった。今後はより複雑化するがん薬物治療において免疫療法は重要な役割を担うことは自明である。

E. 結論

今回の市民公開講座によって、市民に最新の免疫治療に関する情報を提供できた。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし